

教育科目	トリミング実習Ⅲ		教育内容	トリミング実習Ⅲ		実技
学 科 開講学年	動物学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	67 コマ	単位数 4 単位
授業目標	1. それぞれの犬種の特長を美しく表現できるトリミング技術の習得することが出来る。					
授業概要	各犬種的美容技術を習得する。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他(実技試験評価)		
	小テスト	前期	2回・後期	回	前期	1回・後期 回
	評価方法 実技試験評価および提出物の有無、平常点により判定する。					
評価基準	『坪内学園教務規程』による					
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する					
使用 テキスト等	渡辺まゆみ『ドッグ・グルーミング・ワークブック』（緑書房） 金子幸一『プードル・トリミングの教科書』（インターズー）					

教育科目	トリマー演習Ⅲ		教育内容	トリマー演習Ⅲ		演習
学 科 開講学年	動物学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	38 コマ	単位数 5 単位
授業目標	1. トリミングサロンで実施しているサービスを、理解し習得することが出来る。					
授業概要	パック・温泉浴などのサロンでするサービスを実践的に行い、理解・習得する。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他(実技試験評価)		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	1回・後期
	評定方法 実技試験評価および提出物の有無、平常点により判定する。					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する					
使用 テキスト等	渡辺まゆみ『ドッグ・グルーミング・ワークブック』(緑書房) 金子幸一『プードル・トリミングの教科書』(インターズー)					

教育科目	グルーミング実習Ⅲ		教育内容	グルーミング実習Ⅲ		実技
学 科 開講学年	動物学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	33 コマ	単位数 2 単位
授業目標	1. 正確に短時間で爪切り・耳掃除・ブラッシング・シャンプーなどの基本的グルーミング作業を行える技術習得することが出来る。					
授業概要	ペットの健康を維持するためのグルーミング法を実習によって習得する。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他(実技試験評価)		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	1回・後期
	評定方法 実技試験評価および提出物の有無、平常点により判定する。					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する					
使用 テキスト等	渡辺まゆみ『ドッグ・グルーミング・ワークブック』(緑書房)					

教育科目	スピードトリミング I		教育内容	スピードトリミング I			実技
学 科 開講学年	動物学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	45 コマ	単位数	3 単位
授業目標	1. 短時間で終わることのできるトリミング技法の習得することが出来る。						
授業概要	短時間完結のトリミング技術を習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (実技試験評価)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	1回・後期	回
	評価方法 実技試験評価および提出物の有無、平常点により判定する。						
評価基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	渡辺まゆみ『ドッグ・グルーミング・ワークブック』（緑書房）						

教育科目	美容総合実習 I		教育内容	アニマルセラピー実習、 キャットグルーミング		実技、実習
学 科 開講学年	動物学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	18 コマ	単位数 1 単位
授業目標	1. 動物介在活動や接客業務などを通してコミュニケーション能力などの実務実践力を身に着けることが出来る。 2. 猫に関する知識とグルーミング技術を身につけることが出来る。					
授業概要	動物介在活動などを通し実務実践力を学ぶ。 猫に関する知識とグルーミング技術を学ぶ。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他(演習・実習評価)		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	1回・後期
評価方法	演習・実習評価および平常点により判定する。					
評価基準	『坪内学園教務規程』による					
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する					
使用 テキスト等	Textbook for Animal Specialist Text Book of Cat Meister					

教育科目	動物美容学Ⅲ		教育内容	動物美容学Ⅲ			講義
学 科 開講学年	動物学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	13 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 犬種それぞれの特長を理解し、その特長を表現するためのトリミング技法を理解しトリミングで表現出来るようになる。						
授業概要	犬種それぞれの特長を理解し、その特長を表現するためのトリミング技法を学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期 3回	後期 回	前期 回	後期 回		
	評定方法 定期試験および小テストの成績、平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	金子幸一 著『プードル・トリミングの教科書』（緑書房）						

教育科目	飼育管理実習Ⅲ		教育内容	飼育管理実習Ⅲ			実技
学 科 開講学年	動物学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	18 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 健全な動物飼育方法を習得し、実践出来るようになる。						
授業概要	学校飼育動物の飼育管理を中心とした実践を行い、飼育技術を習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他(実技評価)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	1回・後期	回
	評定方法 実技評価および平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	特になし						

教育科目	企業体験実習Ⅱ		教育内容	企業体験実習Ⅱ			実習
学 科 開講学年	動物学科 2年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	16 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 企業での実戦の中で、学んできたことを活かすことができるようになる。 2. 自分の能力を知り、さらなる高みを目指し実践出来るようになる。						
授業概要	インターンシップ 実際の中で、現場のプロから指導を受ける。（事前指導1コマ、事後指導1コマを含む）						
成績評価 方法	定期テスト	なし	<b>その他</b> （レポートなど）				
	小テスト	なし	実習前、実習後レポート提出				
	評価方法 企業からの評価と出席率および提出物の評価による。						
評価基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	<b>実務経験を有する</b> ・ <b>専門知識や資格等を有する</b>						
使用 テキスト等	特になし						

教育科目	トリミング実習Ⅳ		教育内容	トリミング実習Ⅳ		実技
学 科 開講学年	動物学科 2年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	33 コマ	単位数 2 単位
授業目標	1. それぞれの犬種の特長を美しく表現できるトリミング技術の習得することが出来るようになる。					
授業概要	各犬種の美容技術を習得する。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	<b>その他</b> (実技試験評価)		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期 1回
	評定方法 実技試験評価および提出物の有無、平常点（検定試験結果を含む）により判定する。					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
教科科目と 担当者の関 わり	<b>実務経験を有する</b> ・ <b>専門知識や資格等を有する</b>					
使用 テキスト等	渡辺まゆみ『ドッグ・グルーミング・ワークブック』（緑書房） 金子幸一『プードル・トリミングの教科書』（インターズー）					

教育科目	トリマー演習Ⅳ		教育内容	トリマー演習Ⅳ			演習
学 科 開講学年	動物学科 2年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. トリミングサロンで実施しているサービスを、理解し習得することが出来るようになる。						
授業概要	パック・温泉浴などのサロンでするサービスを実践的に行い、理解・習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	<b>その他</b> (実技試験評価)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	1回
	評定方法 実技試験評価および提出物の有無、平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	<b>実務経験を有する</b> ・ <b>専門知識や資格等を有する</b>						
使用 テキスト等	渡辺まゆみ『ドッグ・グルーミング・ワークブック』（緑書房） 金子幸一『プードル・トリミングの教科書』（インターズー）						

教育科目	グルーミング実習Ⅳ		教育内容	グルーミング実習Ⅳ		実技
学 科 開講学年	動物学科 2年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	33 コマ	単位数 2 単位
授業目標	1. 正確に短時間で爪切り・耳掃除・ブラッシング・シャンプーなどの基本的グルーミング作業を行える技術習得することが出来るようになる。					
授業概要	ペットの健康を維持するためのグルーミング法を実習によって習得する。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	<b>その他</b> (実技試験評価)		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期 1回
	評価方法 実技試験評価および提出物の有無、平常点により判定する。					
評価基準	『坪内学園教務規程』による					
教科科目と 担当者の関 わり	<b>実務経験を有する</b> ・ <b>専門知識や資格等を有する</b>					
使用 テキスト等	渡辺まゆみ『ドッグ・グルーミング・ワークブック』(緑書房)					

教育科目	スピードトリミングⅡ		教育内容	スピードトリミングⅡ		実技
学 科 開講学年	動物学科 2年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	79 コマ	単位数 5 単位
授業目標	1. 短時間で終えることのできるトリミング技法の習得することが出来るようになる。					
授業概要	短時間完結のトリミング技術を習得する。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	<b>その他</b> (実技試験評価)		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期 1回
	評価方法 実技試験評価および提出物の有無、平常点により判定する。					
評価基準	『坪内学園教務規程』による					
教科科目と 担当者の関 わり	<b>実務経験を有する</b> ・ <b>専門知識や資格等を有する</b>					
使用 テキスト等	渡辺まゆみ『ドッグ・グルーミング・ワークブック』(緑書房)					

教育科目	美容総合実習Ⅱ		教育内容	アニマルセラピー実習、 キャットグルーミング		実技、実習
学 科 開講学年	動物学科 2年	開講期	前期 (後期)	授業コマ数	19 コマ	単位数 1 単位
授業目標	<p>1. 動物介在活動や接客業務などを通してコミュニケーション能力などの実務実践力を身に着けることが出来るようになる。</p> <p>2. 猫に関する知識とグルーミング技術を身につけることが出来るようになる。</p>					
授業概要	動物介在活動などを通し実務実践力を学ぶ。 猫に関する知識とグルーミング技術を学ぶ。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	(その他) (演習・実習評価)		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期
	評価方法 演習・実習評価および平常点により判定する。					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する					
使用 テキスト等	Textbook for Animal Specialist Text Book of Cat Meister					

教育科目	動物美容学IV		教育内容	動物美容学IV			講義
学 科 開講学年	動物学科 2年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	12 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 犬種それぞれの特長を理解し、その特長を表現するためのトリミング技法を理解しトリミングで表現出来るようになる。						
授業概要	犬種それぞれの特長を理解し、その特長を表現するためのトリミング技法を学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	<b>後期</b>	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	3 回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験および小テストの成績、平常点（検定試験結果を含む）により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	<b>実務経験を有する</b> ・ <b>専門知識や資格等を有する</b>						
使用 テキスト等	金子幸一 / 福山貴昭 著『トリマーのためのベーシック・テクニック』（緑書房）						

教育科目	飼育管理実習Ⅳ		教育内容	飼育管理実習Ⅳ			実技
学 科 開講学年	動物学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	17 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 健全な動物飼育方法を習得し、実践出来るようになる。						
授業概要	学校飼育動物の飼育管理を中心とした実践を行い、飼育技術を習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他(実技評価)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	1回
	評定方法 実技評価および平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	特になし						

教育科目	アニマルコミュニケーションⅠ		教育内容	アニマルコミュニケーションⅠ			演習
学 科 開講学年	動物学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	10 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. マナー、電話応対、接客接遇、職場での対応力などの現場スキルを向上させ即戦力として就職できる力を習得出来るようになる。						
授業概要	グループワークや動物業界でのケースワーク、実務実践を通じ現場対応力を習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他(演習評価)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	1回
	評定方法 提出物の有無および平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	特になし						